

テーマ：北方領土（実践校）

空知管内 奈井江町立奈井江小学校

本実践のポイント（概要）

- 北海道に対する愛着や誇りを育むため、北方領土の地理や自然、産業、歴史等について調べるとともに、外部講師を招聘した講話やアニメ動画「ジョバンニの島」の視聴等を通して、北方領土の特色や領土問題の解決について探究的に学習しました。

ふるさと教育・観光教育の実践内容

単元の目標

北方領土について、特色や自分たちとの関わりについて調べる活動を通して、北方領土の地理や自然、産業、歴史について理解するとともに、領土問題に関心をもって発言したり行動したりできるようにする。

取組の様子

（1）課題の設定

「北海道ふるさと教育指導プログラム」を活用するとともに、北方領土の地理や自然、産業、歴史などについて調べ、領土問題を解決するための取組などについて探究課題を設定しました。

（2）情報の収集

語り部による講話やアニメ動画「ジョバンニの島」の視聴、「小学生用北方領土学習資料『北方領土ってどんなところ？』」、北方領土問題対策協会のWebページ等を活用した調べ学習等を通して、北方領土の地理や自然、産業、歴史、領土問題等について情報を収集しました。

（3）整理・分析

1人1台端末を用いて、収集した情報を整理するとともに、収集した情報をもとに、北方領土の特色や領土問題の解決に向けての考えを交流・協議し、北方領土の特色や領土問題について理解を深めました。

（4）まとめ・表現

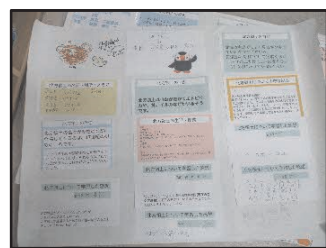
整理・分析したことをもとに、グループごとに模造紙にまとめる活動を通して、北方領土の地理や自然、産業、歴史についての理解を深めるとともに、北方領土の問題を身近に捉え、北方領土に対するこれからの願いをもつことができました。また、作成した学習の成果物は、奈井江町公民館で行われた総合文化祭で展示・公開されました。

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る指導の工夫

- 課題解決に向けて学習を進めることができるよう、情報の収集の場面で、得た情報や自分の考え、感想等について、1人1台端末を用いて、記録・蓄積する場面を位置付けました。
- 課題について、理解を深めたり、新たな課題解決の視点を得たりできるよう、児童同士で交流する場面を位置付けました。



【語り部の講話の様子】



【児童がまとめた学習成果物】

実践の振り返り

- 「北海道ふるさと教育指導プログラム」を活用するとともに、北方領土の地理や自然、産業、歴史について調べたり、北方領土問題を解決するための取組について学習したりすることにより、北方領土に関する興味・関心を高めることができました。
- 総合的な学習の時間における小・中9年間を見通した系統的な学習計画を充実させることで、一層ふるさとに対する愛着や誇りを育むことが期待できます。